

稲光会報

第39巻 55号

平成28年2月〇〇日発行
編集 早稲田大学稲光会
発行者 植竹 清
題字 滝口 宏

上・全日本選手権優勝を決めて歓喜の女子エベ陣、下・左から伊藤、才藤、山根、山村（写真／早稲田スポーツ）



今期前半の春のリーグ戦では、各校実力伯仲の戦国リーグ戦の想定通り厳しい闘いの連続でした。その中で、女子エベ陣はリーグ戦2連覇、その勢いで王座を獲得しました。一方、女子フルール陣は入替戦出場となりましたが、ベストメンバーで臨むことが出来、圧勝で一部残留となり

ました。他の種目も、主力を日本代表としての派遣要請を受け世界に送り出し、戦力層が薄くなる中、全員で一致団結して良く凌いでくれました。そして今期後半戦は、春の闘いで自分達の力を認識した上で9月の強化練習・合宿で十分に地力をつけ、秋のシーズンに臨みました。

まず、関カレでは女子エベ・優勝（2連覇）、男子フルール・準優勝、女子フルール・3位入賞と他種目を含めて、安定した力を出し切るチームへと成長してきました。また、男子エベ個人では小野弘貴が優勝とチームに活を入れてくれました。

女子部員が8名と少ない中、良く頑張ってくれました」とねぎらいの辞を頂きました。引続き行われた第68回全日本選手権大会（団体戦・二関市）では、大会2日目、女子エベ陣は初の全日本制覇を成し遂げました。前述の4冠に続く、今シーズン・全試合無敗での5冠制覇を達成致しました。（当然、優勝を取るつもりで臨みましたが、全試合に際どい場面が何度もあり、「よく、勝てた…」というのが実感です。早稲田大学の全日本制覇は、1953年の男子エベ、2007年の男子エベ以来、3回目となります。



この大会後、11月28日に開催された「学生日本一・総長報告会」においては、鎌田総長に女子エベチーム（山根、山村、伊藤、才藤）と矢口部長、監督とで王座・インカレの優勝報告と両大会の優勝楯及びインカレ優勝旗をご覧頂き、大変喜んでいただくことができました。大学側は、鎌田総長、村岡スポーツ振興担当理事、土屋競技スポーツセンター所長他ご担当が出席されました。総長からは、「全

戦、双方、母校の名譽を懸けての激突となり、慶応チームは、全日本・準優勝及び学生王座優勝の男子エベチームを核として、必勝の気構えで臨んできました。早稲田も改めて気持を引締めて立ち向かい、男女6種目全てで勝利を収め男子21連勝、女子7連勝と連勝記録を伸ばしました。後日、第5回「総長招待・早慶戦優勝部祝賀会」においては、全日本選手権優勝の報告も併せて行い、こちらも喜んで頂くことが出来ました。

女子エベへ全日本選手権・初優勝 初の5冠達成！

OB and OGの近況報告



アラスカのキングサーモン釣り（左が筆者）

昭和52年卒 平野健一
釣り好き作家の夢枕獭さんによれば、「竿の一方の端には魚が、もう一方の端には愚か者がいるのが釣りである。そして、釣れない釣り人は哲学者。釣れた釣り人はただのお調子者」なのだそう。30年ほど前、雑誌の編集をしているころにフライフィッシングを始め、みごとにハマってしまった。毛鉤を自作してヤマメやイワナなど、マスを釣るゲームフィッシングと聞いて興味を持った。やってみるとこれが結構難しい。偏向グラスをかけて、まずは魚を見つけ、鼻の先1メー



トル付近に毛鉤を投げる。できるだけ静かに、まるで本物の虫が水面に落ちるようにキャストし、自然に水面を流れるようにドリフトさせる。すると魚が虫と勘違いをして飛びついてくる。毛鉤を啜えた瞬間にロッドを上げてフッキングさせる。この瞬間がたまらない。あとはパレしないようにテンションをかけたままリールを巻いてランディングする。ネットに入れて始めて釣れたことになる。魚のリアルゲームなのだ。餌釣りと違ってなかなか釣れない。だからこそ、意地になってハマり込む。始めたころには1年間釣れないこともあった。何で釣れないのか？本を読み漁ったりしているうちに、毛鉤



南アフリカにて（後列右が筆者、左隣は夢枕獭氏）

の色やらサイズやら、ライン、ティペット（ハリス）の太さなど、季節、時間、浜相によっても使い分けることがわかってくる。こうなるともう抜け出せない。すでに愚か者の領域に足を踏み入れてしまうことになる。その後、あらゆる釣りにハマって完全に愚か者と化した小生は夢枕獭さんと世界中を釣り歩く企画を画策し、スポーツカーを探し出して、約3年間で6カ国の釣り旅をするこ

『愚か者の杖』（徳間書店）

な手口。それが災いしてか、一冊の本にまとめた直後に編集から営業へと担当を変えられてしまった。いまでは会社のデスクで数字とのにらめっこ。今年で62歳、早くリタイアして釣りに行きたいなあ、と思う毎日です。ちなみにまとめた本は『愚か者の杖』というタイトルです。アマゾンで売っています。ぜひ買ってやってください。最後は宣伝になりました。みなさん、趣味にハマって愚か者になりましょう！

平成23年卒 佐藤夏樹

ご無沙汰しております。平成23年度卒業の佐藤夏樹です。私の趣味の話をしたいのですが、折角ですので近況報告も兼ねさせていただきます。私は大学卒業後もワセダクラブに所属し、フェンシングを続けております。学生時代と比べ練習時間は格段に減り年々衰えを感じてはおりますが大会に行くとい回り年上の方々が勝ちあがっており、その姿を見て私も頑張ろうと思いつつ続けております。やはりなかなかフェンシ



ングはやめられませんが、また一昨年に結婚致しまして、昨年12月に娘が産まれました。それまでは休日のほとんどをフェンシングの練習やたまに趣味で始めたボルダリング等に費やしておりましたが、娘が産まれてからは生活が一変しました。まだ妻が実家帰っているため、週末は可能な限り会いに行くようになりました。子どもができるとなかなか自分の事ができなくなると諸先輩方にはアドバイス頂きましたが、その通りだと強く痛感しております。時間が作れば、稲光会や試合の観戦等にも娘ともども参加させていただきたいと思っております。現役のみなさんは試合頑張ってください。今後ともよろしくお願ひ致します。

今年度は世界選手権大会及びワールドカップ大会等日本代表選手として松山恭助(1年)、狩野愛巳(1年)が選ばれて活躍し、他にも海外大会・日本代表として多くの部員が世界に挑み、力をつけてきました。昨年末に行われた第68回全日本選手権大会(個人戦)では、女子エベで才藤歩夢(1年)が準優勝、伊藤由佳(3年)が3位入賞、また男子フルールでは松山恭助(1年)が3位入賞と大いに活躍してくれました。

「個々の力がチームを強くし、強いチームが個々の力を更に成長させます」全部員が一致団結の上、来シーズン、自分達の最大の敵は「マンネリ化」であることを認識し、鍛錬の心構えとすることを全部員で確認致しました。

(監督 中村立雄)

**女子エベ5冠への軌跡
団体戦、驚異の17連勝**

- ・関東学生リーグ戦(5月) 5勝
- ・第68回全日本学生王座決定戦(6月) 2勝
- ・第67回関東学生選手権大会(10月) 3勝
- ・2015年全日本学生選手権大会(11月) 3勝
- ・第68回全日本選手権大会(12月) 4勝

上から2点は女子エベ全日本他優勝メンバー、下は優勝旗を囲んだ監督・部員一同(写真/早稲田スポーツ)



2015年後半の戦績

- ★女子フルール 5位 永瀬夏帆(スポ・3年)
- ★女子エベ 5位 才藤歩夢(スポ・1年)
- 7位 山村彩和子(教育・3年)
- 団体戦
 - ★男子フルール 3位
 - ★女子フルール 2位
 - ★男子サーブル 4位
 - ★女子サーブル ベスト16
 - ★男子エベ 6位
 - ★女子エベ 優勝
 - ・明治大(○42-27)
 - ・関学大(○45-41)
 - ・日本大(○43-41)
- 12月 第68回全日本選手権大会【団体戦】
 - ★女子エベ 優勝(初)
 - ・1回戦 シード
 - ・2回戦 富山西高校(○45-43)
 - ・3回戦 朝日大(○45-37)
 - ・準決勝 日本大(○45-34)
 - ・決勝 法政大(○43-40)
 - ★男子フルール ベスト16
 - ★女子フルール ベスト16
 - ★男子エベ ベスト8
 - ★男子サーブル ベスト8
 - 【個人戦】
 - ★男子フルール 3位 松山恭助(スポ・1年)
 - ★女子エベ 準優勝 才藤歩夢(スポ・1年)
 - 3位 伊藤由佳(スポ・3年)
- 第68回早慶定期戦(※女子は第30回)
 - ★男子フルール(○45-39)
 - ★男子エベ(○45-39)
 - ★男子サーブル(○45-36)
 - <男子50勝18敗(21連勝)>
 - ★女子フルール(○45-27)
 - ★女子エベ(○45-39)
 - ★女子サーブル(○45-33)
 - <女子16勝14敗(7連勝)>
- 6月 錦帯橋CUP全国ジュニアカデエベサーキット大会
 - ★男子エベ 優勝 小野真英(スポ・1年)
 - ★女子エベ 2位 才藤歩夢(スポ・1年)
- 7月 第28回東京都シニア個人
 - ★女子エベ 2位 才藤歩夢(スポ・1年)
 - 3位 山根司(スポ・4年)
- 8月 東京都ジュニア個人
 - ★男子フルール 優勝 松山恭助(スポ・1年)
- 9月 第4回アジアU23競技大会
 - ★男子エベ(個人) 13位 津江碧(スポ・4年)
 - ★男子エベ(団体) 3位 津江碧(スポ・4年)
- 10月 第67回関東学生選手権大会【個人戦】
 - ★男子エベ 優勝 小野弘貴(社会科学・4年)
 - ★女子フルール 2位 狩野愛巳(スポ・1年)
 - ★女子エベ 2位 山村彩和子(教育・3年)
 - 【団体戦】
 - ★男子フルール 2位
 - ★女子フルール 3位
 - ★男子サーブル 4位
 - ★女子サーブル 4位
 - ★男子エベ 6位
 - ★女子エベ 優勝
 - ・東女体大(○45-27)
 - ・日体大(○45-39)
 - ・日本大(○45-)
- 11月 2015年全日本学生選手権大会【個人戦】
 - ★男子エベ 3位 小野弘貴(社会科学・4年)



**お祝いムードで
稲光会開催**

稲光会の日が、10月18日道場で開催、矢口先生はじめ30名近い先輩方が参加されました。今回は、女子エベ学生王座優勝の祝勝会も兼ねて行い、会場には「祝第38回稲光会の日」、「祝平成27年度女子エベ学生王座優勝」の横断幕や稲門体育会河野洋平

会長から贈られた生花も飾られ、お祝いムード一色でありました。

恒例の部員紅白戦、懇親会、越先輩の歌、慶田先輩の草笛のご披露を頂き、赤井幹事が北原会長の後を引き受けてオーケシヨンの司会を行い、予想以上の売り上げがありました。校歌、紺碧の空を高らかに斉唱して今年最後になるお土産の佃煮を貰い、散会しました。

ご参加頂きました先輩方に御礼申し上げます。本年は、より多くの先輩のご参加を、お願い致します。

第22回関東学連OB会ゴルフコンペ シニアの部・植竹が優勝

昨年11月19日茨城県かすみがうら市の千代田カントリークラブで9大学41名が参加して開催されました。稲光会からは伊藤茂秀先輩(S33年卒)、慶田浩一先輩(S38年)、植竹清先輩(S39年)が参加、団体戦の成績は振るいませんでしたが、個人戦では植竹先輩が一般3位、シニア優勝(2年ぶり2回目)を成し遂げました。

早慶戦、男女とも勝利

12月20日、久々に早慶戦を応援に行きました。両校力量接近との前評判だったそうで、双方応援にも大変熱が入り最後の最後まで歓声、音量の沸き立ちに場内が盛り上がりました。

試合結果はいつもメールで送っていただいておりますが、現場で一本一本の取り、取られに一喜一憂する感動はまた格別です。何より選手諸君の技術のやり取りに加え、青春の躍動、爆発が素晴らしいです。選手生活の間に巧まずして感得し、発揚されるものではありませんが、小生がすっかり離れてしまっていたものを思い出した一時でもありました。最後まで闘志を失わずに戦い抜いた、慶応の選手諸君も応援のOBも立派でした。

稲光会OB、OG各位も、時には試合場で感動を共にしましょう。(越茂樹・S27年卒)



WASEDA CLUB
ワセダクラブの活動

小6の鈴木、小3の河原が下記の結果を残しました。2人の夢は松山恭助先輩に続いて将来日本代表になること。応援よろしく願います。

- ・鈴木統吾(小6) 第7回森永製菓・太田雄貴杯 優勝
世田谷少年フェンシング大会 優勝
八王子フェンシング大会小学生高学年 優勝
- ・河原資起(小3) 第11回京都大山崎カップ少年少女大会 小学3・4年の部 優勝

【合宿のご案内】
期間 3月14日(月)～21日(月・祝)
場所 ニュー福寿荘
住所 山梨県南都留郡山中湖村平野1-4-0
電話 0555(65)8301

ぜひ、多くの先輩のご参加、ご指導を
よろしく願います！

